

◆中面記事の通常講座に加えて、「特別集中講座」も予定しています。

「箱根・伊豆・富士の環境と歴史を探る」事前学習（予定） 日程ほか詳細は、令和8年度開講後、別途ご案内します。

受講手続きの流れ

1. FAX^{※1}、封筒郵送^{※1}、はがき、メール、Webで、次の内容をお知らせください。

※ 1 別途の受講申込書をご利用ください。

①受講希望講座 ○○○○○

（2講座申込希望の方は、2つの講座名を明記ください）

②氏名（ふりがな） ③郵便番号・住所 ④電話番号 ⑤FAX番号

⑥メールアドレス（休講などのお知らせに使用します）

・FAX送信先：03-3715-3099

・郵送先：〒153-8573 目黒区役所生涯学習課内<住所不要>

・メール送信先：megurocc1995@gmail.com

・めぐろシティカレッジホームページ（右コード）から申込み可

めぐろシティカレッジ wix 検索



2. 手続きの流れは次の通りです。

	応募締切	受講確定 振込案内送付	受講料振込締切	受講証送付
日程	3月2日	3月上旬	3月16日	4月上旬

3. 講座当日は、受講証（聴講生適応の回は聴講生証）をご持参の上、会場へお越しください。

※原則として入金後の講座の変更・キャンセルはできません。

やむを得ない事情が生じた場合は、1回目の講義の前までに事務局にご相談ください。

受講に際して

- やむを得ない事情により、日程や講師等を変更したり、講義の短縮や中止の場合もあります。予めご承知おきください。
- 現地実習については、荒天等により実現できなかった場合、天候や講師の都合により平日に実施する場合もあります。日程変更により欠席された場合でも返金できません。予めご承知おきください。
- 講師や他の受講生に迷惑をかけたり、講座運営に支障をきたす行為があった場合、受講をお断りすることがあります。
- 受講を修了した方が研究会を作る場合には、事務局へご相談ください。
- 主な会場は目黒区立中央町社会教育館（中央町さくらプラザ）ですが、講義によっては現地実習があります。現地実習の集合場所や時間等は別途ご案内します。

Q & A

Q 1 講座を2つ申込むことはできますか？
A 1 できます。日程が重なっていない講座と組み合わせてお申込みください。

Q 2 聴講生として選択する講義3つは、同一講義内に限られますか？
A 2 日程が重ならない2つの講座から自由に選択ください。

Q 3 8月を挟んで異なる講座を申込でも良いですか？
A 3 お申込みは、「通年」でお願いします。

Q 4 抽選で落選した場合はどうなりますか？
A 4 応募状況により、定員に余裕のある他の講座等をご案内させていただきます。



お問合せ

めぐろシティカレッジ振興会事務局

TEL: 03-5722-9316

（月～金曜日 10:00～17:00）

目黒区上目黒 2-19-15

目黒区教育委員会事務局 生涯学習課内

めぐろシティカレッジ 受講案内・募集要項

応募締切：令和8年3月2日（月）※消印有効

●「めぐろシティカレッジ」の紹介

平成7年10月開講

めぐろシティカレッジは、東京都立大学が八王子市に移転するに際し、「お世話になった目黒区に何かお役に立つがあれば協力したい」という、東京都立大学の総長山住正己先生（当時）をはじめ、大学関係者および、東京都立大学附属高等学校の皆様の熱い思いを受け、目黒区、東京都立大学、同大附属高等学校、東京都教育庁の4者が協力して、目黒区民の生涯学習に貢献し、生活・文化に寄与することを目的として開始した生涯学習講座です。

現在、任意団体「めぐろシティカレッジ振興会」が運営を行っています。

令和8年度も会場は、前年度に引き続き目黒区立中央町社会教育館（中央町さくらプラザ 目黒区中央町2-4-18）で実施します。

●学習の目標

「めぐろシティカレッジ」では、設立の趣旨に基づき、次の3点を学習の目標に掲げています。

- わたしたちは、「めぐろシティカレッジ」で誰からも強いやれることなく、自らの意思と方法で勉強して自己実現をはかります。
- わたしたちは、「めぐろシティカレッジ」で蓄積された知的資産を「明るい豊かな人間のまちづくり」に生かします。
- わたしたちは、「めぐろシティカレッジ」での学習や研究、「まちづくり」を通じて育まれた温かい人間関係をより豊かにするとともに、新しい価値観と生きがいを求め行動します。

講座開催にあたりご協力のお願い

- 発熱又は風邪のような症状がある方、ご家族に発熱症状のある方、少しでも感染の恐れがある場合は、講座への出席をお控えください。
- 状況により、掲載されている講座や講座会場などが変更される場合があります。
- 休講などのお知らせに使うため、メールアドレスをお知らせください。

開講式

令和8年4月11日（土）午前11時より（於：目黒区総合庁舎内2階大会議室）

（当日初回講義のある方は、午後2時より、中央町社会教育館に移動して受講してください。）

講座案内

「通年制」となります。

各講座とも全14回／1講座につき受講料21,000円／定員50名

※現地実習のある講座について

抽選（区内在住・在勤・在学優先）

- イヤホン・ガイド使用料として実費分（900円×使用回数分）のご負担をお願いいたします（お振込みの通知送付時に、各申込者に振込金額をお知らせします）
- その他に、見学先により、別途入館料など実費が必要な場合があります。

聴講生制度について

「通年制」講義の受講申込者に限り、同年度に開講する講義の中で、別の講義を3回希望することのできる制度です（ただし定員に空きがある場合）。聴講生としての受講料は、3回で5,100円です。詳細は、3月2日の受講申し込み締切後、受講決定者にお知らせ予定です。

全4講座(通年制)

令和8年4月～令和9年1月 (講義時間 午後2時～4時)

1. 目黒学 パート32「三田用水の歴史を探り、用水の痕跡を記録に残す」 *イヤホン使用講座有り コーディネーター:山崎 憲治	2. 今を生きる コーディネーター:堀 信行
4/11 ①【オリエンテーション】／②元富士・新富士と三田用水／③近藤重蔵と富蔵 ①③山崎 憲治 元岩手大学教授 ②荻原 延元 川村学園女子大学名誉教授、日本画家、江戸連会員	4/11 「いのち」について：風土的思考の重要性を考える 堀 信行 東京都立大学名誉教授
4/25 現地調査1 (笹塚～神泉) 現地実習 山崎 憲治 元岩手大学教授	4/25 原爆の被爆地を踏まえて、現在のジェノサイドを考える 戸田 清 長崎大学名誉教授
5/9 歴史的に見た東京の水害と治水対策 (1) 末次 忠司 (一社) 地域国土強靭化研究所顧問	5/9 身近な关心から広がる世界 三輪 主彦 大人の科学塾「みわ塾」主宰(元都立高校教諭)
5/23 三田用水の歴史 山崎 憲治 元岩手大学教授	5/23 映画「杜人」の制作を通して、日本の環境を考える 前田 せつ子 映画「杜人」の制作・監督・撮影・編集
6/13 現地調査2 (神泉～茶屋坂) 現地実習 山崎 憲治 元岩手大学教授	6/13 次世代に生きる環境と安全な食料を残すために 中村 陽子 NPO法人メダカのがっこう理事長
6/27 歴史的に見た東京の水害と治水対策(2) 末次 忠司 (一社) 地域国土強靭化研究所顧問	6/27 「扉から始まる家創りの世界」喜び、集う 渦空間の不思議 小坂 憲正 幾何楽堂代表、建築家、扉作家
7/11 「雨」「水」を浮世絵から見る—浮世絵の豊かな表現、ジャポニズム断章 荻原 延元 川村学園女子大学名誉教授、日本画家、江戸連会員	7/25 ネパールの山村における32年の支援活動の “今”を語る 垣見 一雅 OKバジ
9/26 江戸の用水—三田用水と品川用水 柘植 信行 品川歴史館専門委員	9/26 技術士として考える地球環境問題 井上 祥一郎 オモシロ技術情報資料室室長、日本技術士会名誉会員
10/10 中世の白金長者の館の跡(自然教育園)をフィールドに 植生とその変容 福嶋 司 東京農工大学名誉教授	10/10 温泉から見えてくる日本の自然と文化 浜田 真之 国際温泉研究院代表取締役社長
10/24 現地調査3 (茶屋坂～二本榎) 現地実習 山崎 憲治 元岩手大学教授	10/24 日本の宇宙技術と宇宙への展望 小笠原 宏 東京理科大学教授
11/14 幕末の江戸防備—品川御台場と目黒火薬製造所 柘植 信行 品川歴史館専門委員	11/14 日本の民俗文化の揺らぎと展望 井戸 理恵子 多摩美術大学非常勤講師、ゆきすきのくに合同会社代表
11/28 明治末期の三田用水周辺の土地利用 作業:土地利用図作成 山崎 憲治 元岩手大学教授	11/28 バイクと共に生涯旅人:世界の自然と文化に学ぶ 豊穣の地球。目指せ、200万キロ! 賀曾利 隆 冒険家
12/12 今日の三田用水の姿を記録として残す 山崎 憲治 元岩手大学教授	12/12 惑星政治学から現代世界の平和を考える 前田 幸男 創価大学教授
1/23 音楽の世界で水はどう表現されるか 原田 敬子 東京音楽大学作曲科(芸術コース)教授 鹿児島大学法學部客員教授	1/23 先人に学ぶ:ビーグル号の若きダーウィンと その後の展開 堀 信行 東京都立大学名誉教授

3. 歴史のおもしろさと奥深さ コーディネーター:越田 年彦	4. 見て回る 江戸・東京 *イヤホン使用講座有り コーディネーター:佐藤 洋、生井 貞行
4/18 歴史の存在論と認識論～歴史哲学入門 越田 年彦 元慶應義塾大学訪問教授、白百合女子大学非常勤講師	4/18 入門編・白金方面・目黒駅から清正公 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭
5/16 日本文学と日本装丁史～その奥深さと楽しさ(その1) 小林 真理 京都芸術大学客員教授、美術ジャーナリスト	5/16 白金方面・目黒駅から清正公 現地実習 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭
5/30 日本文学と日本装丁史～その奥深さと楽しさ(その2) 小林 真理 京都芸術大学客員教授、美術ジャーナリスト	5/30 東京大学本郷キャンパス周辺・弥生式土器と大名屋敷(赤門) 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭
6/6 大正新教育と新聞活用～1枚の写真から その謎に迫る 城島 徹 元毎日新聞編集委員	6/6 板橋宿・江戸四宿・続品川宿 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭
6/20 富士山の災害文化史 山崎 憲治 元岩手大学教授	6/20 江戸城外堀・市ヶ谷周辺 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭
7/4 宇宙考古学への招待(その1) 恵多谷 雅弘 東海大学情報技術センター研究員 鶴間 和幸 学習院大学名誉教授 村松 弘一 淑徳大学人文学部教授	7/4 新しい江戸時代が見えてくる「平和」と「文明化」の265年 大石 学 東京学芸大学名誉教授
7/18 宇宙考古学への招待(その2) 7/4に同じ	7/18 目黒区緑の散歩道(駒場コース)・国分寺お鷹の道と真姿の池湧水群 生井 貞行 元桜美林大学講師
10/3 ビートルズ!～いかにして彼らは世界を変えたのか 大村 亨 ビートルズ日本史研究家	10/3 武蔵野台地の地下水—井の頭公園と玉川上水— 堀 信行 東京都立大学名誉教授
10/17 日本人と英語の歴史 細井 俊克 白梅学園高等学校英語科・情報科教諭	10/17 武蔵野台地の地下水—井の頭公園と玉川上水— 堀 信行 東京都立大学名誉教授 現地実習
10/31 インドのイスラム教徒の歴史(その1) 小林 理修 東京学芸大学附属高等学校地歴科教諭	10/31 目黒区緑の散歩道(駒場コース) 現地実習 生井 貞行 元桜美林大学講師
11/7 インドのイスラム教徒の歴史(その2) 小林 理修 東京学芸大学附属高等学校地歴科教諭	11/7 国分寺のお鷹の道と真姿の池湧水群 現地実習 生井 貞行 元桜美林大学講師
11/21 文学における会話表現の歴史 森 慎一郎 めぐろシティカレッジ理事・カリキュラム委員	11/21 東京大学本郷キャンパス周辺・弥生式土器と大名屋敷(赤門) 現地実習 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭
12/5 神奈川近代文学館・大佛次郎記念館を訪ねて 越田 年彦 元慶應義塾大学訪問教授、白百合女子大学非常勤講師	12/5 板橋宿・江戸四宿・続品川宿 現地実習 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭
1/16 マネーゲームの世界史～チューリップバブルから サブプライムローン問題まで 越田 年彦 元慶應義塾大学訪問教授、白百合女子大学非常勤講師	1/16 江戸城外堀・市ヶ谷周辺 現地実習 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭